

看護の心を私たちの心に

学生は、日々の講義・演習・臨地実習を通して、「看護とは」「患者さんにとってよい看護とは」と考えながら、学習しています。臨地実習では患者さんの言動から「これが看護だ!」と気づいたり、「看護者としての姿勢」、「自分の学習課題」について内省することの繰り返しです。患者さんへの看護実践から多くを感じ、気づきながら学びを深め、一步一步看護師へと成長しています。日本看護協会、厚生労働省の主催の「忘れられない看護エピソード」が第6回を迎えました。「看護」を通して得られた忘れられない思い出やエピソードを綴り応募するものです。今年の看護部門で最優秀賞を受賞しました「専属ナース物語」をご紹介します。(校長 澤田貴美子)

「お前は最低の看護師だ!」これは、2013年の寒い冬の夜、ある患者さんから言われた言葉です。「ある患者さん」というのは、私の父です。父は肝硬変を患い、私が勤務する病院に入院し、治療を受けました。その闘病生活はとても厳しいものでした。私は介護休暇を申請し、そばに付き添う生活を送りました。看護の仕事に就いて15年。初めての経験でした。私は、看護師であるプライドと家族からの期待を裏切らないように、毎日自分の力の限り、必死で付き添いました。しかし、父は夜間にせん妄状態となることがあり、そのたびに「なんで私を困らせるの?」とつぶやきながら、布団に潜り込んで号泣しました。「お前は最低の看護師だ!」という言葉も、せん妄状態の父が発した言葉でした。私は、父から言われたというショックと、看護師としてのプライドが一気に崩され、父の部屋を飛び出し、待合所で号泣しました。そして、いつの間にか寝てしまいました。その夜に不思議な夢を見ました。幼い私と若い父。私が楽しそうにワープロを教えている風景。次は、苦手だった数学を教えている風景。次から次に場面が展開し、まるで物語のような夢を見ました。気付くと窓から日が差していました。その朝は、とても不思議な気持ちになり、逃げ出したはずの父の病室に自然に駆け寄りました。父の寝顔を見て「もしかして、今度も私に何かを教えたいのかもしれない」という思いが私の心の中に舞い降り、その瞬間に柔らかな涙が頬を流れました。その日から、夢の続きの「専属ナース物語」が始まりました。介護休暇が終わり、仕事に復帰した私は、日中は看護業務を、夜間は私服に着替えて父の付き添いをしました。父は白衣を着た私には厳しく、あいさつや立ち姿、環境整備などを細かく評価し「お前は心遣いが足りないことが多すぎる」「お前の看護がアイデアと発明が足りない」といった感じで、毎日叱ってくれました。でも、白衣を脱いで「娘」に戻ると「お前の仕事は大変だ。体を大事にしろよ」と温かい声を掛けてくれました。いつの間にか、家族の病気という大きな出来事も、私に与えられた素晴らしい時間なんだと思うようになりました。「お前もいい看護師になってきたな」と言ってくれた1ヵ月後、父は家族に囲まれて旅立ちました。時が経ち、父の友人から「お父さんは『俺の専属ナースは最高の看護師だ』って、美恵ちゃんのことをいつも自慢していたよ」という話を聞きました。そのとき、涙があられ、目の前の父の写真がゆがんで見える中、「お前に合格点をやる。専属ナースはたくさん人を助けなさい」という声が聞こえた気がしました。私は、今もその場所で働いています。時に叱り、時に褒めてくれた父の言葉を胸に、私のナース物語は、これからも続きます。

第1号から引き続き、9月から12月までの看護学生の学習状況について紹介します。

9月 ことぶき大学 交流会 (7日) 1年・2年生

今年も富良野市ことぶき大学の49名の皆様が学校を訪問していただき、1年・2年生との交流会を開催しました。交流会の目的は、世代を超えた対象を理解するとともに、対人関係スキルと礼儀を学ぶ、富良野地域で生活している高齢者との交流の場とする、ことです。超高化社会を迎え、臨地実習での受持ち患者さんは高齢者の皆様です。しかし、日常生活ではご高齢の皆様と接する機会が少ないのが現状です。人生の大先輩であることぶき大学の皆様のお話をお聞きし、貴重な時間を過ごすことができました。

来年もどうぞよろしくお祈りします。



学生の皆さんの学びをお礼文の中から抜粋して紹介します。

- たくさんお話を聞かせていただき中でも特に看護師さんの優しい笑顔で安心することが出来たというお話を聞いて、改めて人と関わる中で、笑顔が相手の心に寄り添うことができると学ばせていただきました。私たちもこれから人の心に寄り添うことのできる笑顔をもった看護師を目指し、日々精進して参ります。
- 皆さんお話をさせていただき、自ら何かに挑戦しようとすることによって、生きがいとなるということや笑顔は人を元気にするということを学ばせていただきました。これから看護師になるにあたり、笑顔を大切に、人の為に何が出来るか常に考え、生活したいです。
- 元気の秘訣や学校のお話、これからの生活の心得など楽しいお話を沢山して頂き有意義な時間を過ごすことができました。教えて頂いたことを生かして実習や学習に励みたいと思います。

10月

体験学習 (9日) 1年生

富良野自然塾へ体験学習に行きました。植樹を含めた環境体験プログラムを学習することで、自然環境の大切さを学び、自然を育む心や豊かな感性を養うことを目的としています。30名の学生一人一人と植樹した木々のどちらが、大きく大地に根を伸ばし、大木へとたくましく成長するか!さあ、競争です!!

看護技術発表会 (20日~21日) 1年生

4月から学習してきました基礎看護技術論の成果を発表しました。発表会の目的は、①基礎看護技術の原理・原則を理解し、安全に技術を実施する、②自己の課題を明確にし、主体的に学習する姿勢を培う、の2点です。実施方法は、事例患者の状況を読み取り、既習の基礎看護技術を総合し、患者に必要な1日のケアを組み立て実践することです。8月下旬から準備を開始し、発表会当日を迎えました。当日の様子を紹介します。



各グループの看護ケア計画発表



グループの最終打合せ中



いよいよ本番!
清拭の必要物品準備中...



緊張の1日でした!!

発表会を終えての感想です。



- 入学してから初めての技術発表会でした。この日のために、朝昼放課後のあき時間を活用し、今まで習った看護技術の練習に励みました。グループメンバーとともに患者さんの苦痛を与えない援助方法・技術は何かなど考えていく日々でした。そして、患者さんにあった看護を考えることも大変でした。当日は、とても緊張し練習の成果を発揮できませんでした。そのため、先生や仲間から指導の言葉も多く、悔しい思いをしました。この悔しさから正確な看護技術を身につけるためにはたくさんの練習と勉強が必要だと感じました。これからは、患者さんの安全を守るための自分自身に与えられた課題に前向きに取り組んでいきたいと思いました。(齋藤彩奈)
- 私は、技術発表会を通して練習を積み重ねることの大切さと人と協力することの大切さを学びました。元々、洗髪や清拭などの技術が苦手だった私は、この技術発表会がとても不安でした。ですが、グループの人達と協力し、技術練習の時に自分や他の人の良いところ悪いところを言い合い何が出来ていなかったのか明確になりました。そのおかげで本番までに自信が付き、本番では練習してきたことをだすことができました。グループの人達や先生方に感謝しています。今回の技術発表会を終えてまた課題が見えてきたので、これからも練習を積み重ねていきたいです。(村太海斗)
- 今回の看護技術発表会に向けて同じグループの方たちと何度も技術練習を重ねてきました。短時間の中で、正確にスムーズな看護技術ができるように先生方から指導を頂きながら練習を進めました。当日はとても緊張しましたが、練習の成果は出せたとおもいます。その中でほかのグループの方や患者役、先生からの講評を頂き今の自分の課題を明確にすることができました。また他者の援助を評価して、実際に自分が患者役になって見えることや学ぶことが多く、とてもいい経験となりました。実習まで残りわずかですが、今後も練習を重ねて今持っている技術をより確かなものにして、実習で患者さんに安全安楽な看護援助を行えるようにしたいです。(横井あす花)

第2回就職説明会 (27日) 1年・2年生



4月開催に続き、2回目の就職説明会が開催されました。今回は1年・2年生を対象に各施設の皆様からの医療・看護の現状、福利厚生、給与、奨学金等について、具体的な説明がありました。



♥
富良野で学び、富良野圏域で看護師
として働き、キャリアアップをめざすの
もいいですね!!★★★



11月 ケーススタディ発表会 (18日~19日) 3年生

5月から開始されました臨床実習において、各領域での受持ち事例から対象を選択しケーススタディとしてまとめました。夏季休暇中や放課後に担当教員の指導を受け、熱心に看護研究に取り組んだ成果は「ケーススタディ集録」として完成しました。12分内の発表時間内で分かり易くまとめ、発表後は活発な質疑応答が交わされ、学生講評は的確かつ、ポジティブなものでした。臨床指導者の皆様からは、心温かな講評をいただきました。

3年生の看護のまなざしは患者さんに向き、その人らしく充実した日々を過ごすことができるよう患者さん中心の看護を展開していました。専門的な知識・技術とともに看護の心、そして看護師の卵から看護師へと成長していることを実感しました。

研究選択領域	
老年看護学	19件
精神看護学	6件
小児看護学	3件
母性看護学	2件



12月 研修旅行 (東京) (20~22日) 3年生

20日8時に富良野を出発し、旭川空港から東京羽田空港へと向かいました。研修旅行の主たる目的は、東京大学医学部標本室の見学です。見学後は東京都内や千葉方面への自己研修を予定しています。研修旅行「密着レポート3日間」報告は、次回3号に掲載したいと思います。残念ながら、研修旅行に参加できなかったメンバーの学内研修を紹介します。研修テーマは「異文化を味わう」でした。



レポーターは研修委員、アルバム委員のメンバーです。よろしく!!



学内研修メンバー



学内研修チームは食材の買い出しから行動を開始しました。テーマ「異文化を味わう」で日本食(米飯・味噌汁)をはじめ、ハンガリー、イタリア、フランス、中国の料理を5人で協力し作りしました。大変段取り、チームワークも良く、予定より早く5品の料理が完成しました。出来高は★★★★★! どのようなレポートになるのでしょうか? 期待しています。

今後の予定 平成29年1月~3月

□ 1月	□ 2月	□ 3月
11日(火)~12日(水) 平成29年度入学試験	12日(日)第106回看護師国家試験 (札幌市)	7日(火)卒業式(第21期生) 上旬 看心ふらの第3号発行予定
23日(月)~1年生基礎看護学II実習	13日(月)~2年生成人看護学II実習	